



4月1日、野々市市体育協会が「野々市市スポーツ協会」へと名称が変わりました。新名称の看板除幕式に出席させていただきました（看板は栗市長が揮毫したものです）

ごあいさつ

令和5年4月5日

3月10日、山田憲昭白山市長がご逝去されました。県議会議員の時代からの永いお付き合いのなかで、誰からも愛される人柄と包容力を身近に感じ、さまざまな課題に対しても難なくまとめあげる卓越した政治手腕に、たいへん多くのことを学ばせていただきました。ご尽力されていまして「世界ジオパーク」認定を目前に、ご本人もさぞかし無念だったことと思います。早すぎる別れに断腸の思いが拭いきれません。

心からご冥福をお祈りするとともに、これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。

新年度のスタートとともに、本市では健康福祉部内に「福祉連携調整室」を新たに設置いたしました。

国は、「こども家庭庁」の設置などをはじめ、従来の福祉の在り方を大幅に見直し、支援を必要とする世帯の課題を包括的に受け止め、重層的支援体制の整備を進めています。本市におきましても、複雑化、多様化した課題を抱える世帯の増加が見込まれるなか、その支援に向けて、関係課が一層緊密に連携をとることが求められています。複合的な課題を抱える世帯や、さまざまな制度の狭間にある福祉ニーズにも対応できるよう、担当課の垣根を越えた組織づくりを進めてまいります。

新型コロナもようやく落ち着きをみせ、社会全体が「コロナ前」の状況に戻ってきました。長い冬を越え、待ちかねた春の光は、眩しいほどに感じられます。今年はことのほか、3月の椿まつりの頃から、さまざまな花が美しく咲き、草花もコロナからの回復をお祝いしているようにすら感じます。

マスクの着用が個人の判断となり、外す場面も増えてきます。この3年間の「習慣」から、外すことをためらうこともあるかと思います。みんなが安心して笑い合える日々を楽しみにしています。

この春、新入学、新社会人へと新たな世界への第一歩を進み出す皆さん、これからの未来に幸多からんことを心からお祈り申し上げます。